

平成 20 年 4 月 3 日

補 助 金 等 交 付 報 告 書

富士市長 鈴木 尚様

所在地 富士市大淵 27-6
 名称 NPO 法人富士市のごみを考える会
 代表者
 氏名 小野由美子 印

富士市補助金交付規則第3条の規定により補助金の交付をいただいたので、関係書類を添えて報告します。

1、補助交付額	100,000円				
2、事業等の目的	富士市のごみを減量するための市民への啓発活動を行うことを目的とする。フジスマートプラン達成のため、一人の100歩より100人の1歩を目指して、市民一人一人へのごみの減量・リデュース・リユース・リサイクルへの働きかけを呼びかけていく。				
3 内 容	施行箇所等	富士市内一円			
	計画の概要	① 先進都市見学	富士市にふさわしいごみ処理施設やごみ分別システムを考えるため、会員外の方も呼びかけて、最新施設や都市を見学する。		
		② 普及啓発活動			
		● ごみ減量フェア	市が行うごみ減量普及啓発事業に参加		
		● 環境教育事業	生ごみ資源化、3R の普及啓発を学校教育の現場で行なう		
		● もったいない音楽会	音楽を楽しみながら、楽しくごみ減量の話の普及啓発する		
		③ ごみ減量実践事業 リユース食器	イベントで使い捨て食器使用せず、リユース食器を使うことでごみ減量の普及啓発をする。		
④ 会運営費	NPO 法人富士市のごみを考える会を運営管理するための費用。				
4、事業等の経費	総 額	市 補 助 金 等	自 己 負 担	そ の 他	
	791,103 円	100,000 円	677,103 円	14,000 円	
5、交付金交付日	平成20年 2月 10日				
6、着手日	平成19年 4月 1日				
7、完了予定期日	平成20年 3月 31日				
8、添付書類	①②③④⑤⑥の事業報告書及び収支書。				

報告書 I

①先進都市見学バスツアー	
目的	富士市にふさわしいごみ処理施設や環境先進都市を見学し、学ぶ
実施方法	広く富士市民に呼びかけ、先進的な施設や都市を見学するバスをチャーターして、バスの中でも学べるような機会を作る。
実施回数	平成 20 年 2 月 5 日鎌倉市笛田リサイクルセンター視察 44 名参加

先進都市見学バスツアー事業収支書

	項目	金額	根拠
収入	富士市補助金	0	19 年度補助金
	個人負担	172,000	参加費として一人当たり 4,000 円(昼食代含む)
	会自己負担金	0	
	計	172,000	
支出	バスチャーター代	73,500	45 人乗り 鎌倉市まで
	高速代	12,600	
	駐車場代	2,400	一人 1,000 円の昼食予約
	昼食	45,400	
	保険	2,500	
	運転手お礼	2,000	
	会員交通費支給	28,500	
	計	166,900	

報告書Ⅱ

②市主催ごみ減量フェア参加	
目的	市が行うごみ減量普及啓発事業に参加
実施方法	ごみ分別ゲームのカード版を作成。分別ゲームがうまくできると市支給の小規模授産所ふじひろみ作成のEM ぼかしを、当会の会報と一緒に配布。
実施回数	平成 19年 11 月 17 日 年 1 回

市主催ごみ減量フェア参加事業収支書

	項目	金額	根拠
収入	富士市補助金	600	
	計	600	
支出	スタッフ昼食他	600	朝 9 時から午後 3 時まで 2 人分
	計	600	

報告書Ⅲ

③環境教育事業	
目的	3R(リデュース・リユース・リサイクル)普及啓発
実施方法	ごみ分別ゲームのカード版を作成。分別ゲームがうまくできると 生ごみ資源化の普及啓発 ペットボトルリサイクル ごみゼロクイズ
実施回数	5月14日 元吉原小学校4年生 65名に、3Rの環境教育授業 5月22日 裾野市南小学校4年生、県委託環境教育授業、3R授業 7月10日 青葉台小学校4年生総合学習研究授業で講評 9月28日 牧の原小学校 4年生 38名総合学習にて、環境教育指導 10月29日 青葉台学童クラブに、「エコってなあに？」のお話とこま作り。 5月15日、6月20日 環境省浄化槽フォーラム準備と本番参加

環境教育事業収支書

	項目	金額	根拠
収入	講師料 (富士市・静岡県)	80,000	静岡県環境教育事業・審議会 18年度分
	環境省	115,860	浄化槽フォーラム理事
	富士市補助金	9,924	
	自己負担金	0	
	計	205,784	
支出	スタッフ日当	137,102	収入の70%人数割り支払い
	備品・消耗品購入	68,682	生ごみパンフレットコピー他
	計	205,784	

報告書V

リユース食器事業					
目的	イベントにおいて使い捨て食器を使わず、リユース食器を使うことで、イベントで発生する大量のごみを減らす。地域イベントに食器と自動食器洗い機を貸し出すことで、地域へのごみ減量への意識啓発を行うと共に、実際にごみを減らす。				
実施方法	17年度				
		開催日	イベント名	場所	実地主体
	①	3月31日	広見さくら祭り	広見公園	広見地区 生涯学習推進会
	②	4月14日	ひかりの丘祭り	ひかりの丘施設	ひかりの丘職員
	③	8月4日	青葉台夏祭り	青葉台小学校グラウンド	青葉台地区 夏祭り実行委員会
	④	8月4日	中学生との交流会	広見小学校グラウンド	広見地区 生涯学習推進会
	⑤	8月25・26日	ウィンドウブローイン 御前崎	御前崎市マリナーパーク	フリーワークス 実行委員会
	⑥	9月30日	田子の浦シラス祭り	田子の浦港	漁港組合
	⑦	10月 13日 14日 15日	静岡県環境森林フェア	静岡ツインメッセ	静岡県環境森林部
	⑧	10月13日	宮島浅間神社祭	宮島神社	宮島地区 まちづくり推進会
	⑥	10月14日	神戸地区神戸寄席	神戸公民館	神戸まちづくり推進会
	⑨	10月21日	市民福祉祭り	中央公園駐車場	福祉祭り実行委員会
	⑩	11月4日	広見地区文化祭	広見公民館 広見小学校体育館	広見地区 生涯学習推進会
	⑪	11月11日	青葉台地区文化祭	青葉台小学校 体育館	青葉台地区 生涯学習推進会
	⑫	11月17日	鷹岡商工会フェアー	富士西公園	鷹岡商工会
⑬	12月8日	富士市環境フェア	ホワイトパレス	富士市環境部	
⑭	1月13日	広見地区どんど焼き	広見小学校校庭	広見地区 生涯学習推進会	
⑮	1月27日	災害ボランティア支援本部設置訓練	富士市消防庁舎	富士市消防団	

報告書Ⅴ(続き)

リユース食器事業収支書			
収入	項目	金額	根拠
	リユース食器貸し出し料	158,645	食器 5 円／枚、食器洗い機 3000 円／回
	富士市補助金	8000	19年度補助金
	自己負担金	62	
	計	166,707	

支出	人件費	57,288	福祉祭り 20 人、ふじまつり 10 人他
	消耗品購入	12,993	洗剤、ポリ袋
	交通費	41,820	
	備品購入	54,606	食器保存ボックス、リユース食器看板
	計	166,707	

報告書VI

⑤NPO 法人富士市のごみを考える会を運営管理するための費用	
目的	会の運営管理
実施方法	事務局:理事会承認により運営
実施	通年

管理運営事業収支書

	項目	金額	根拠
収入	富士市補助金	31,324	
	自己負担金	67,833	
	計	99,157	
支出	会議費	2,888	総会準備
	旅費交通費	14,360	会議等出席会細則による
	通信費	47,250	会報送料
	器具備品費	1,260	
	消耗品費	10,707	文具・サインペン等
	印刷費	3,184	フィランセ印刷代
	支払い手数料	210	銀行振り込み
	交際費	0	
	図書費	0	
	事務費	2,000	葉書代
	公租公課	2,240	ボランティア保険
	雑費	15,058	年会費(消費連・きらり交流)
	人件費	0	無償ボランティアのため
	計	99,157	